

農業サークル「のらしいのお」

佐藤 萌々香

(食料生命環境学科
アグリサイエンスコース2年)



鶴窓会だよりをご覧の皆さん、こんにちは。山形大学農学部の農業サークル「のらしいのお」の会長を務めます、アグリサイエンスコース2年の佐藤萌々香です。

農業サークル「のらしいのお」は、今年の4月に発足したボ

ーに置きながら現在6人のメンバーで活動しています。皆さんは農学部で学ぶ(学んでいた)間、このようないいのを考えたことはありましたか?「周りで農業の話をする関心を持つ人が少ないな」、「机上だけでなく、実際の農業に触れる学びを行いたい」など。あるある!と思った方もいるのではないでしょうか。実はサークル立ち上げのメンバーには、このような思いを持った人達がいました。そこで、農家さんと学生がつながり、がら、今の農業について真剣に向き合える場を作りたい、という思いを形にしたのが「のらしいのお」の発足経緯です。

そのもとで「学生と農家の架け橋から、協働の地域づくり」をコンセプトに、これまで教授訪問や農家さんとの交流など、様々な活動を行ってきました。

中でも特に農家さんとの交流は、サークルにとって大きな刺激となっています。講義で学んだ知識が現場を通して実感としてつながったり、農家さんが農学部生に期待することを知つたりしてきました。これらは、大学から飛び出し、実際に農業の現場を支える農家さんの声を聞いたからこそ分かつてきただこと



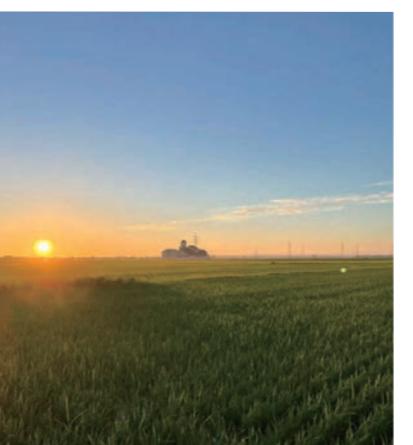
SEADSさんに訪問した際の様子

でもあります。学生だけではなく第三者が関わる「のらしいのお」における学生の活動する姿勢や、農家さんを取り巻く農業問題について、メンバー自身が深く考えさせられる活動となりました。

これまでではサークルの準備段階として、農家さんのつながりを作るための活動をしてきました。これからはそこで学びを踏まえ、サークルとして本格的に活動を形にしていく段階に入っています。

そこで考えている私たちの活動は次の3つです。
①農業支援
②学生による作物販売
③

農家さんインタビュー、になります。それぞれの活動に目的があり、どれも学生の自己満足ではなく、本当の意味で農家さんの立場に立つた活動として形にしていこうと考えています。



庄内の田園風景

それにあたり、「のらしいお」の活動に興味がある。何かの形で関わりたい、といいます。農業関係の方はもちらん、学生メンバーも募集中です。お話をするとだけでも嬉しいですし、その中で農学部や庄内地域の農業・農家さんにとって、より良い方向を一緒に見つけることができれば幸いです。

まだ成長途中にある「のらしいのお」を今後ともよろしくお願いいたします。

「テーブルゲームの会」

大原 隼斗

(食料生命環境学科
アグリサイエンスコース4年)



一回、サークルのメンバーで集まり、ボードゲームで遊んでいます。

一言にボードゲームと言つてもその内容は様々で、

じっくりと考えることで思考力が鍛えられるものから、自分の考えを相手に伝えたり、逆に相手の意図を読み取つたりすることでもその内容は様々で、

海山は少し肌寒かったです。鳥海山でキャンプとBBQを行いました。もちろん、テントの下でのボードゲームも欠かさず。9月の鳥海山は少し肌寒かったです。鳥海山でキャンプとBBQを行いました。もちろん、

今年の8月には、サークル活動の一環として、鼠ヶ関にある地域交流を目的としたサークルです。普段は週末活動の一環として、鼠ヶ関のある地域の方と交流を行いました!コロナが流行する前はこういった活動も行いまして、今年の8月には、サークル活動の一環として、鼠ヶ関にある地域交流を目的とした大学生が運営していました。

今年の8月には、サークル活動の一環として、鼠ヶ関のある地域交流を目的とした大学生が運営していました。今年の8月には、サークル活動の一環として、鼠ヶ関にある地域交流を目的とした大学生が運営していました。

おすすめのボードゲーム紹介コーナー

【イト】

者の方にも楽しんでいただけます!

【リトルタウンビルダーズ】

このゲームは、各自に配られた一枚の数字が書かれカードを、仲間と協力して小さい数字から順に出し



ていくことを目指すゲームです。数については直接言葉にしてはいけなく、与えられたテーマにそつて、自分が数字に近いと思うものについて話し合つてていきます。このゲームの面白さは、相手の意図を汲み取り、自分の意図をうまく伝えるところにあります。初対面の人とやるもの、長く付き添つた人とやるもの違つた面白さがあり、その人の新しさ一面が発見できます。このゲームを通して、それが持つ価値観の違いを楽しんでください!

た労働力(行動回数)と資源をいかに効率よく活用するかという、リソース管理能力が勝敗を分ける点があります。

各種タイルやマーカーは猫をモチーフに作られており、非常に可愛らしい見た目をしているのもポイントです。シンプルなルール。繰り返し遊びやすい試合時間。それでいて奥深い戦略性。万人におすすめできるゲームですが、特に家族で遊べるボードゲームを探している方にオススメです!

ボードゲームの楽しさを知る人が少しでも増えることを願つて、これからもサークル活動を続けていきたいと思います!

魚突きサークル「アクリライフ」

(食料生命環境学科
エコサイエンスコース3年)

皆さん、こんにちは。魚突きサークル「アクラアライフ」で会長を務めています、農学部3年の大羽賀岳です。皆さんは「魚突き」をご存じでしょうか。魚突きとは、

A group of four young men are standing outdoors, each holding up two large, vibrant red fish. They are positioned in front of a large concrete dam with a reservoir behind them, and a forested mountain range is visible in the background under a clear sky.

退職に寄せて

「私で良かったのか」



教授 小沢

小沢瓦

食農環境マネジメント学コース、アグリサイエンスコース、地域創生プログラムと所属は変わりましたが、平成19年12月に教授昇格し、自分では人並みに過ごせたかなど関係者の皆さんに感謝しています。

赴任した地域環境科学講座は林業経理学母体の地域生態学・水理学母体の河川環境学に、社会科学系の地域計画学の3分野でした。それぞれに強い個性を持つた研究室で多くを学べると

いう利点もあれば、それそれの背景が大きすぎて、院生の「先生たちがあまりに真剣にゼミをしすぎるのについていくのが大変」という声が37歳の私に届きました。意思疎通が上手くいって楽しくしたい私は「講座で合宿セミナーをしませんか」と提案し、講座で何度も議論しました。それが20年近く続いた夏休みと冬休みの大学院共通セミナーです。講座の院生が発表(2年間で4回発表)し、教員も持ち回りで毎回2、3人発表し議論しました。それまで知らないかった森林・地域生態のこととも土木・河川環境のこともだいぶ知識を獲得でき、私の雑学の幅は大いに広がりました。また、ファイデア総研(当時莊銀総研)から要請があり、食、農、6次産業化を関連させた人材育成システムを平成20年に作り、リカレント教育である「やまがた6次産業ビジネススクール」に7年関わりました。そしてそれをベースに農学部に事

長い棒の先端に二股の鉤先
末端にゴムをつけたヤスと
いう道具を、ゴムの弾力を
用いて魚を突き刺して獲る
水中アクティビティです。
魚を突いた際に「とつた
どー」と叫ぶ某テレビ番組
を見たことがある人なら、
イメージしやすいかもしれ
ません。私たちのサークル
が行っているのはまさに
「とつたどー」と同じです。
日本ではあまり馴染みがあ
りませんが、海外ではスピア
フィッシングと呼ばれ、釣り
と同じぐらいメジャーなマリ
ンスポーツとなっています。
ウエットスーツを着て、ゴー
グル、フイン(足ひれ)をつけ、
素潜りで魚を狙います。



で創部28年目を迎える歴史あるサークルでもあります。毎週土曜は日帰り可能な地域で活動していますが連休や夏休みには離島や九州へ遠征し、キャンプをしながらその日に獲れた魚を食べて生活をする、サバイバル生活のようなこともしています。今年は、サークルとしては7年ぶりに九州へ遠征しました。九州には10人乗りハイエースをレンタルし、2時間ごとに運転交代しながら丸一日かけて向かいました。ここまでして九州の地に行きたかった訳は、南国に生息する大型のハタ、スジアラを突きたかったからです。結果を言うと、スジアラを見かけることは何度

もあつたものの、抜けた人は1人でした（私事で出発する3日前に感染し、九十九原にいた叶いませ
たでも九州のクな地形、色と國の魚に興奮し充実した遠征だとでした。魚突
めて（私は丈夫に入れて）、またリベンジしたい
と、また、魚突きスープで海に潜密漁者と間違
ともあります。タコなどを獲るりますが、私た
ちは魚しか獲りません。現在山形県内で潜
る際には、潜る場所を管轄している漁協さん
と酒田海上保安部さんに事前に連絡をす
ることにしていました。



振り返ると外向きの活動に惹かれる悪癖で関係する教職員の皆さんには大変迷惑をかけたのではと反省しています。加えて、酒飲みなのでコンパやBBQに振り回した同窓生にも相当迷惑をかけたという自覚があります。自覚はそれほど反省をしない輩を良くも28年おいて頂いたと山形大学の懐の広さに感謝します。教職員、同窓生のご健勝を祈念するとともに、山形大学農学部のますますの発展を期待します。お世話になりました。

民間のコンサルから山大に異動し36年、学生時代を含めると40年、山形大学にお世話になりました。農学部の卒業生ということもあり、鶴窓会では幹事・事務局長・副会長を歴任しました。

86年に戻ってきた当時、パソコンが普及し始めた頃で、名簿の電子化に取り組みました。その頃の名簿ソフトは処理できる人数が僅かで、記憶媒体もフロッピーディスクが主流で、会員全員の管理には大変苦労しました。また、当時のハードディスクは衝撃に非常に脆く、データクラッシュを起こし、再入力したり、データの他ソフトへの移行の方法などいろいろ勉強になりました。その後50周年記念事業は会計を担当しました。記念式典・懇親会には多数の会員に参加して頂き、会場での先輩たちの熱い語らいは忘れられません。2004年からは事務局長を拝命しました。2007年の総会前日に脳出血し、急速に事務局長の交代となり、野堀先生には大変ご迷惑を

おかげしました。また、当日、同席していただいた置賜支部の方々には私の体調不良に気づき、救急車を手配いただき、一命をとりとめました。心から感謝いたしました。副会長になつてからは、70周年記念事業にも参加させて頂きました。事務局長・副会长時代は各支部の総会等に参加させて頂き、熱い活動を拝見したり、旧友との再会があつたり、楽しい時間をすごさせて頂きました。

個人情報保護法の施行に伴い、最近名簿への登録が少ないので残念です。横の繋がりはSNS等で盛んに行われていますが、縦のつながりが薄いようを感じます。縦のつながりは、ひょんな時に役に立ちます。

末筆になりますが、杉葉堂印刷の杉山さん、事務局の村上さん・浦島さん・渡邊さんは大変お世話になりました。

鶴窓会のますますの発展をご祈念申し上げます。

もあつたものの、抜けた人は1人でした（私事で出発する3日前に感染し、九十九原にいた叶いませ
たでも九州の色々な地形、色と國の魚に興奮し充実した遠征だとでした。魚突
めて（私は丈夫に入れて）、またリベンジしたいと
また、魚突きスープで海に潜密漁者と間違ともあります。
タコなどを獲りますが、私たちは魚しか獲りません。現在山形県内で潜る際には、潜る場所を管轄している漁協さんと酒田海上保安部さんに事前に連絡をす

「退職に寄せて」



准教授 柳原 敦
(昭和55年林学科卒)

15 退職に寄せて